

1 はじめに

本校の特別活動の目標は、「自主性・自発性を尊重し、相違ある生き生きとした活動の展開により、学校生活の充実を図る」である。この目標を達成するために、次のような活動に取り組んだ。

2 資料

(1) 計画委員会の活動

月	活動名	月	活動名
4	創立記念集会 1年生を迎える会	1 1	メロディーフェスティバル司会
5	運動会スローガン募集・決定	1 2	あいさつ運動
8	児童会・生徒会交流会	2	児童集会

(2) 創立70周年式典

4月12日の創立70周年式典では、油縄子小クイズの運営を行った。油縄子小学校の歴史などを出題し、全校児童が楽しく参加できた。また、第1回卒業生の方から学校創立時の写真を見せてもらったり、お話を伺ったりして、油縄子小学校をますます好きになることができた。



(3) キッズタイム・児童集会

キッズタイムでは、月に1度異学年集団の交流の場を意図的に設定し、学級や学年をこえた人間関係を作る場としている。特に高学年は、下級生の世話をし、思いやりの心や班をまとめる力が育ってきている。毎回、班ごとに遊びやルールを工夫し、全学年が楽しめるように考えながら実施している。



また、毎年計画委員会が主催する児童集会を行っており、2月にジャンケン玉取りゲームを実施する予定である。班対抗種目のため、高学年を中心に作戦を練るなど、各班で協力し合って活動を行う姿を目指している。

3 成果と課題

- ・創立70周年記念式典を通して、油縄子小学校の歴史を知り、愛校心を養うことができた。
- ・異学年交流を通して、他学年の児童と仲が良くなり、通常の休み時間も一緒に遊ぶなどの交流範囲の広がりが見られた。
- ・縦割り班活動では、高学年を中心とし、児童同士が主体的に協力し合って活動することができた。思いやりの心や、集団としての一体感が育ってきている。
- ・児童集会の企画・運営を通して、計画委員の児童の愛校心を高めることができた。活動の達成感、これからの学校生活への意欲となり、さらなる自主性・自発性の向上が期待できる。